

みんなで守ろう文化財！ 育てよう防火の心

～1月26日は文化財防火デー～

毎年1月26日は、「文化財防火デー」です。

昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、貴重な壁画が焼損しました。

そこで、毎年この日を中心に、全国的な防火運動を展開しています。

四日市市消防本部でも、管内の文化財を守るため、文化財施設に対して消防訓練を実施したり、火災が発生しやすい環境がないか教育委員会と合同で検査を行っています。

特に昨年は、世界遺産であるパリのノートルダム大聖堂での火災や、沖縄の首里城跡での火災により収蔵品を含めた貴重な文化財が焼失しました。



【昨年消防訓練を実施した南富田町の善教寺】

最近の火災は、放火によるものが多く、今回の首里城跡火災では電気火災の疑いがあるも、未だ原因の特定には至っていません。防火にあつては施設関係者の管理はもちろんのこと、地域全体で守る必要があり、周辺地域の皆さんの協力が不可欠です。一度、ご自宅近くにどんな文化財施設があるか、確認してみませんか？そして、貴重な文化財を後世に伝えていくために、あらためて文化財防火へのご協力をお願いします。

大切な文化財を みんなで守ろう！

お問い合わせ

消防本部予防保安課

TEL : 356-2010 FAX : 356-2041

